

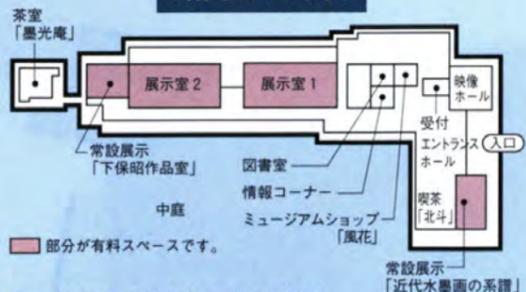
富山県水墨美術館

いよいよ
4月29日
オープン

近代水墨画の流れを紹介する全国的にもユニークな美術館、
富山県水墨美術館が4月29日にオープンします。



館内のご案内



■常設展示「近代水墨画の系譜」
横山大観、菱田春草、前田青邨など、近代の代表的な作家の水墨画を展示します。

■常設展示「下保昭作品室」
現在、日本の画壇で最も注目されている本県出身の日本画家、下保昭の水墨作品を展示します。

■展示室1、展示室2
多彩な日本文化の美を鑑賞できるよう、日本画、染織、陶芸などの企画展を開催します。

■映像ホール
オリジナルハイビジョン映像「水墨画への誘い」と「近代水墨画の創造」（上映時間各20分）等を上映します。

■ミュージアムショップ「風花」
オリジナル絵ハガキや複製画など素敵なグッズがそろっています。

■喫茶「北斗」
広い中庭を眺めながらつづらげます。コーヒーや、四季折々の食材を用いた和食を用意しています。

■茶室「墨光庵」
立礼席が設けられ、静寂の空間でお茶（有料）を楽しめます。



耳より情報 無料スペースが多い水墨美術館
展示室は有料ですが、その他の区域（映像ホール・図書室など）は入館料のいないフリースペースになっています。また喫茶「北斗」や茶室「墨光庵」を利用する場合も入館料は必要ありません。皆さんの「憩いの場」として、どうぞお気軽にご利用ください。

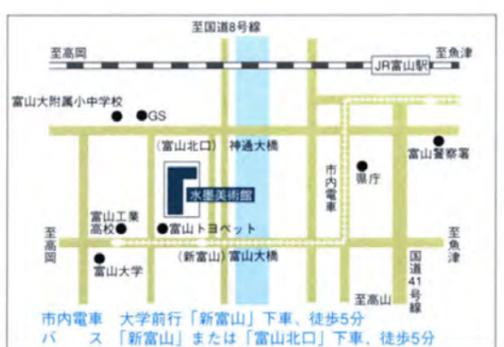
ボランティアが水墨美術館を支えます
水墨美術館では、「みんなの美術館」をめざしてボランティア活動を導入しています。現在、約50名の方が登録。作品の解説や資料整理、PR活動、庭園の整備などの場で活躍することになっています。

特典 「県広報とやま」をお読みの方に特典
4月29日から5月30日まで開催の「横山大観展」にご来場の際、このページ左下の引換券を持参された方（先着2000名）に、「水墨美術館オリジナルしおり」をプレゼントします。

観覧料	
■常設展示	一般 2000円(1600円)
■横山大観展(常設展示室)	一般 9000円(7000円)
■横山大観展(常設展示室)	小・中学生 1000円(600円)
■横山大観展(常設展示室)	高校・大学生 1600円(1000円)
■横山大観展(常設展示室)	小・中学生 4500円(3200円)
■横山大観展(常設展示室)	高校・大学生 6500円(5000円)

※()は20名以上の団体料金

オープニングを飾る開館記念特別展は「横山大観展」(会期4/29~5/30)。水墨画を中心に彩色画も含め、初期から晩年までの作品約五十点を一堂に展示します。
ポストンから里帰りした「木立に白鷺」(明治三十七年)や、宮中御座所の調度として制作された豪快な作品「飛泉」(昭和三年)など、日ごろ目にする機会の少ない貴重な作品も数多く公開されます。この機会にぜひご覧ください。



問合せ・ご意見は
富山県水墨美術館まで
〒930-0887
富山市五福777番地
TEL 0764(31)3719
FAX 0764(31)3720

開館時間/9:30~17:00(入室は16:30まで)
休館日/月曜日(祝日を除く)・祝日の翌日・年末年始

日本人の美意識にふれる
日本には、長い伝統のなかで「優美」「幽玄」「わび・さび」など独特の美意識が育まれてきました。墨の濃淡によって高い精神性を表現する水墨画は、それが最も如実に現れたものの一つです。
しかしながら、このような美意識は、生活様式の変化に伴って、いまま急速に失われつつあります。
富山県水墨美術館は、水墨画をはじめとする日本文化の美と語らうことによって、日本人の美意識を再確認する「やすらぎの場」として四月二十九日(祝)にオープンします。

日本情緒を満喫できる
水墨美術館は、寄せ棟造り平屋の和風建築。各展示室は長さ一〇〇メートルの主廊下で結ばれています。主廊下のガラス越しには、雄大な立山連峰を一望できる中庭がひろがり、その一角には名工の手による本格的数寄屋建築の茶室があります。
また、水墨美術館は富山市の公園「五福山水苑」の中にあります。静かな雰囲気の中で、日本の美と日本情緒をたっぷり満喫できるわけです。



障子からの光で作品を鑑賞できる「下保昭作品室」

日本の伝統的な光を再現
日本の美術は、雨や雪を防ぐため屋根のひさしを長くした家屋の中で発達しました。薄暗い室内で光を放つ金屏風、ろうそくの明かりの下で輝く蒔絵箱などは、ほのかな光の中でこそ、その魅力を見せてくれます。
水墨美術館では、展示室の照明が工夫され、ろうそくの温かい光を再現できるようにしています。また、床の間の障子から差し込む柔らかな光の中で作品を鑑賞できます。
このようにして日本の伝統の光を

オープニングは「横山大観展」
水墨美術館は、「近代水墨画の系譜」をテーマとして、竹内栖鳳、横山大観など近代の代表的作家の優れた水墨画を常設展示します。
また、染織や陶芸など日本の美を広く紹介する企画展も随時開催します。